

## (2) アイリス

### ア 各病害虫の防除

青かび病

黒斑病、さび病

白絹病

尻腐病（フザリウム菌）

軟腐病

斑点細菌病

モザイク病

アブラムシ類

## ア 各病害虫の防除

### 【留意事項】

(□は総合防除計画に掲載している病害虫)

### 青かび病

---

(耕種的・物理的防除)

- 1 球根を冷涼、乾燥、通気の良いところで貯蔵する。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 薬剤により球根を消毒する。掘り取った球根を消毒する場合は、掘取り直後に浸漬し、速やかに乾燥させる。  
※貯蔵中の球根(鱗茎)が腐敗するほか、生育期間中にも発病し立ち枯れが発生する。

### 黒斑病、さび病

---

(耕種的・物理的防除)

- 1 発病葉を切り取り処分する。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#) **【黒斑病】**

- 1 黒斑病は、薬剤を施用(散布)する。

### 白絹病

---

(耕種的・物理的防除)

- 1 2～3年輪作する。
- 2 発病株は、周囲の土ごと直ちに取り除く(菌核がでないうちに実行する)。  
※もみがら、わらなどの未熟有機物は発病を助長させるので注意する。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 薬剤を施用(散布)する。
- 2 薬剤により土壌消毒を行う。

### 尻腐病(フザリウム菌)

---

・発病は場は土壌消毒する([共通防除の章の資材・苗床・本ぼの消毒の項](#)を参照)。

(耕種的・物理的防除)

- 1 健全株を選ぶ。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 薬剤を用いて土壌消毒する。

### 軟腐病

---

(耕種的・物理的防除)

- 1 発病種球を取り除く。
  - 2 発生地に植付けしない。
  - 3 連作せず排水良好な畑を選ぶ。
- ※傷口から入り、土が過湿のときにひどくなる。

### 斑点細菌病

---

(耕種的・物理的防除)

- 1 2～3年輪作する。
- 2 室内を過湿にしない(ビニールハウス促成栽培)。  
※葉に発生する。

## モザイク病

---

(耕種的・物理的防除)

- 1 発病株は直ちに処分する。

(薬剤防除)

- 1 [本項のアブラムシ類の防除](#)に基づき防除を行う。

## アブラムシ類

---

(耕種的・物理的防除)

- 1 育苗時からアブラムシ類の発生に注意する。黄色粘着テープを施設の出入口や開口部の近く、若しくは苗の近くにつるし、有翅成虫が飛来していないか確認する。
- 2 近紫外線除去フィルムは成虫の飛来を減らす効果があるので、これらのフィルムを施設の外張りやトンネルに使用する。
- 3 施設では、側窓や天窓などの開口部に寒冷紗や防虫ネット等を張り、成虫の飛来を防ぐ。
- 4 マルチをする場合は、シルバーポリマルチなど忌避効果のあるものを使用する。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 気門封鎖剤を散布する。
- 2 くん煙剤の使用については、[共通防除の章の温室・ビニールハウスでのくん煙剤・常温煙霧剤の使用方法的項](#)を参照する。
- 3 発生が予想される場合には、薬剤を施用（散布）する。